令和２(2020)年度教育目標

令和２年４月６日（月）

茨城県立太田第一高等学校・附属中学校

１　教育方針

自主的精神に満ちた，心身共に健康で，社会や国家に貢献し得る有為な人材の育成に努める。

２　重点目標

○　併設型中高一貫教育校として，新しい教育課程に基づく，深い学びの実現に努める。
○　進路指導を充実させ，生徒の進路希望の実現に努める。
○　基本的生活習慣の確立を図るとともに，自主的・自律的な生活態度の伸長に努める。
○　生徒・教職員・地域住民等による学校評価を踏まえ，学校運営を改善・充実させ，開かれた学校づくりに努める。
○　業務の効率化を進め，生徒一人一人に寄り添う指導の実現に努める。
○　道徳教育の充実を図り，豊かな心の育成に努める。
○　特色ある取組を幅広く広報・発信し，生徒の確保に努める。

３　今年度の努力目標

（１）　全日制課程

○　自他の生命を尊重し，他人を思いやる心を育て，豊かな人間性を培う。
　　(→心の教育の充実・豊かな人間性の涵養)
○　単位制高等学校（進学重視型）としての特色を生かした学習内容を工夫し，学習指導の充実を図ることで学力の向上に努める。
　　(→単位制の特色を生かした学力アップ)
○　生徒の主体的な学習意欲を喚起し，家庭学習時間の確保を図る。
　　(→家庭学習の定着と学習時間の確保を目指した指導)
○　生徒の興味・関心・適性に応じた進路指導の充実に努める。
　　(→目的意識の深化等個々の生徒に応じたきめ細かな指導)
○　新学習指導要領を踏まえた教科指導の内容・方法等の研修に積極的に取り組み，指導力の向上に努める。
　　(→互見授業の積極的な実施と指導力の向上，主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進)
○　生徒理解をとおして，生徒の個性の伸長を図りながら，高校生らしい服装・態度を身につけさせ，望ましい生活習慣の確立に努める。
　　(→積極的な生徒理解，家庭との連携，基本的生活習慣の確立)
○　生徒会活動・ＨＲ活動・部活動の活性化に努め，地域との連携をはかりながら体験的活動を展開する。
　　(→特別教育活動と学社連携の充実)
○　危機管理を徹底し，校内外での事故防止と健康・安全で安心な学校づくりに努める。
　　(→情報の共有と臨機応変な判断，充実した学校生活への環境整備)
○　国際理解を深め，グローバルな視点と国際感覚の育成に努める。
　　(→英語力の育成と国際理解教育の推進)
○　教育活動の広報体制を一層充実させるとともに，生徒の確保に努める。
　　(→幅広い情報発信と学校公開の機会拡充による生徒の確保)
○　地域の学校との連携を深め，多様な指導法の共有を図る。
　　(→学校種を越えた相互授業研修)

（２）　定時制課程

○　自他の生命を尊重し，他人を思いやる心を育て，豊かな人間性を培う。
　　(→心の教育の充実・豊かな人間性の涵養)
○　きめ細かな学習指導をとおして，基礎的・基本的な学力の向上に努める。
　　(→基礎・基本の重視，必要に応じた個別の指導計画の策定)
○　家庭との連携を密にして，基本的な生活習慣の確立に努める。
　　(→積極的な生徒理解，基本的生活習慣の確立)
○　危機管理を徹底し，校内外での事故防止と健康・安全で安心な学校づくりに努める。
　　(→情報の共有と臨機応変な判断，充実した学校生活への環境整備)
○　生徒会活動・部活動の活性化に努め，他者と協力して社会を生きる力を培う。
　　(→学校行事への積極的参加)
○　勤労観・職業観を育成し，就業指導の充実に努める。
　　(→職場に関する多様な知識や情報の提供)

（３） 附属中学校

○ 豊かな人間性とコミュニケーション能力を育てる。

（→複数担任制の効果的運営，異学年交流の計画的・継続的な推進）

○ 確かな学力を身に付ける学習活動の充実に努める。

（→学習習慣・基礎基本の定着と高校と連携した発展的な学び，学習理解に対応した習熟度別授業，ＩＣＴ機器・教材の効果的な活用）

○ 地域資源を活用した探究活動を推進する。

（→「青龍タイム」での教科横断的な学習，意見交換会・成果発表会の実施）

○ 計画的・継続的な国際教育の充実を図る。

（→英語授業・ＨＲ等での英語力の定着，体験を重視したプレゼンテーション力・コミュニケーション能力の育成）

○ 危機管理を徹底し，校内外での事故防止と健康・安全で安心な学校づくりに努める。

（→情報の共有と臨機応変な判断，充実した学校生活への環境整備）

○ 教育活動の広報体制の充実に努める。

（→学校だより・ＨＰ等による幅広い情報発信と学校公開の機会拡充による生徒の確保）